

科目名	教材・授業研究Ⅱ（数理）	担当教員	西村哲雄
科目属性	専門科目 A群	単位数	2単位（面接1単位）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>本講義は、小学校理科において戦後、社会の要請に応えながら、理科教育をリードしてきた学習指導要領の幾度かの改訂にもかかわらず、現在でも教師中心の解説的な授業が展開されているくらいがあります。子どもたちが主体的に学習できる授業の改善が進まなかった要因の一つに、小学校理科教育の目的、内容の理解、指導方法について十分理解されていなかったり、教師の理科的な素養が十分でなかったりしたことが考えられます。</p> <p>そこで、本講は小学校理科教育の目的、内容、指導方法などを論考、実践研究し、子ども主体の授業が実践できるように教師の理科指導能力の向上を図ることをねらいとしています。</p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の3つとなっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新学習指導要領理科について理解する。子ども主体の授業改善ができなかった理由を明らかにする。 2 理科における「主体的・対話的で深い学び」について理解し、そのことを踏まえた具体的な授業実践ができる。 3 「指導と評価の一体化」のための学習評価について、具体的な評価規準及び評価基準が作成できる。 			
<p>【授業計画】</p> <p>第1回 第1章総説の1改訂の経緯及び基本方針について理解する。</p> <p>第2回 同 2理科改訂の趣旨について理解する。</p> <p>第3回 同 3理科改訂の要点について理解する。</p> <p>第4回 上記の理解した事項などをスライドにまとめ、説明する。（レポート課題①）</p> <p>第5回 第4回の説明から、自らの理解度が不十分な箇所についてまとめる。</p> <p>第6回 第2章理科の目標及び内容の第1節教科の目標について分析的に理解する。</p> <p>第7回 上記の理科の目標（教科の目標）と他の教科の目標（例えば、国語、算数など1つの教科の目標）について比較して調べ、理解する。</p> <p>第8回 第2節理科の内容構成について理解する。その際、科学の基本的な概念について、P22、23、24、25の表から1つ（例えばエネルギー）選び、そのつながりを理解し、まとめる。</p> <p>第9回 第3章各学年の目標及び内容の第1節第3学年の目標及び内容について理解する。</p> <p>第10回 同 第4学年の目標及び内容について理解する。</p> <p>第11回 同 第5学年の目標及び内容について理解する。</p> <p>第12回 同 第6学年の目標及び内容について理解する。</p> <p>第13回 第4章指導計画の作成と内容の取扱いについて理解する。1指導計画作成上の配慮事項、2内容の取扱いについての配慮事項に分けてまとめる。</p> <p>第14回 理科における「主体的・対話的で深い学び」について理解する。</p> <p>第15回 上記の理解した理科における「主体的・対話的で深い学び」を具体的な指導事例を挙げて説明する。（レポート課題②）</p>			

【評価方法】

評価については、スクーリングが 50%、レポートが 25%、そして科目修得試験が 25%の割合で総合しての評価となります。

【教科書】

文部科学省

『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 理科編』東洋館出版社

https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2017/09/tebiki20151019_fixed_compress.pdf

【参考図書】

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料・小学校理科（国立教育政策研究所）』